



初めて学ぶ人間工学

岡田明編著；後藤義明 [ほか] 著. -- 理工図書, 2016.

REVIEWER

医学部医学科2回生

患者にも優しい環境の易しい入門

この本は、人間の特性に基づき様々なものを設計する「人間工学」の入門書である。飛行機の高度計、キーボードの配置、といった様々な例を挙げることで人間工学の様々な考え方を紹介している。

医療系学生にとって人間工学は「患者の立場に立った環境」を考えるヒントになると本書を読んで感じた。例えば、この本でも紹介されている高齢者に優しいお風呂の手すりを知ることで病院や在宅医療の環境を整えられるだろう。あるいは、人体の構造・機能に注目する人間工学の考え方を取り入れ、機能制限のある患者の治療が考えられるかもしれない。また、患者は往々にして、生活するうえで必要にするものが多数派とは異なる。そのため人間工学で扱うユニバーサルデザイン、つまり「誰でも使える」デザインは、患者へのよりよい接し方を私たち医療系の学生にも考えさせてくれる。

この本は題名通り、入門書である。したがって、紹介される医学的知識には特に目新しいものはなく、残念ながら医学の勉強には向かない。しかし同時に、工学の知識をはじめとして他の分野の専門知識も必要としないため、非常に敷居の低い入門書である。また、理解を助けるための身近な例を扱ったコラムや本の最後には演習問題があり、学習が快適に進むことが期待できる。ブックガイドも充実しており、興味を持った分野を詳しく知りたい人への適切な道しるべとなるように感じた。

医療の役割をQOLの向上と考えるなら、快適なデザインを考える人間工学は医療系学生にとって無関係な学問ではない。そして人間工学に興味のある人にとって、本書は優秀な入門書であると思う。

受理：2017-03-31

501

84

O 38

医図開架